

保健管理・総合相談センター年報

目次

巻頭言	3
センター長 大森哲郎	
I.保健管理部門	
1. 診療・健康相談日程表	4
2. 学生定期健康診断	5
(1) 学生定期健康診断の概要	
(2) 平成 30 年度受診状況	
(3) 歯科検診受診状況	
(4) 平成 30 年度事後措置件数および経過観察件数	
3. 学生特別健康診断	10
平成 30 年度受診状況（放射線業務従事者、学内駅伝参加者）	
4. 職員定期健康診断（事後措置）	11
平成 30 年度事後措置件数	
5. 職員特殊健康診断	12
平成 30 年度受診状況	
6. 職員特定保健指導	13
特定保健指導の概要と平成 30 年度実施状況	
7. 感染症対策	15
①B 型肝炎予防対策（学生）	
②インフルエンザワクチン接種状況	
8. 学内行事での救護活動	16
平成 30 年度の救護活動	

9. 産業保健活動	16
産業保健活動の概要	
10. 常三島地区利用状況	17
(1) 学生の学部別利用状況	
(2) 学生の月別利用状況	
(3) 職員の利用状況	
11. 蔵本地区利用状況	19
(1) 学生の学部別利用状況	
(2) 学生の月別利用状況	
(3) 職員の利用状況	
12. 学生メンタルヘルス関連	21
(1) こころの相談室受診状況	
(2) 新入生メンタルヘルス健診実施状況	
13. 健康教室実施利用状況	23
14. 学生健康診断証明書発行状況	24
15. 平成30年度年間主要行事	25
Ⅱ.総合相談部門	
1. 利用状況	26
(1) 学生相談利用状況	
(2) 職員相談利用状況	
2. 活動報告	28
平成30年度活動報告	

巻頭言

本年報は保健管理・総合相談センターの平成30年4月から31年3月までの一年間の活動記録です。平成31年4月からは、アクセシビリティ支援室を統合してキャンパスライフ健康支援センターとして新たな組織に改組されましたので、保健管理・総合相談センターの名称のもとでの最後の年報となります。

センターの使命は、学生と職員の心身の健康と保健福祉の維持向上です。保健管理部門には、内科医、精神科医、保健師、看護師、臨床検査技師が常勤していて、学内の診療所の役割を果たしています。無料で診察、検査、治療、相談を提供していますし、専門的な検査や治療が必要なときには外部の病院の紹介もしています。また、通常の診療業務とは別に、春と秋に行う学生と職員に対する健康診断、全学への疾患情報提供と保健啓発活動、特定学部学生のウイルス抗体検査、産業医関連諸活動なども行っています。

総合相談部門には、臨床心理士が3名いて、学生相談と職員相談を行っています。履修、進路、就職、人間関係、職場の悩みなど学生と職員のあらゆる相談を受け付けています。人権相談の窓口ともなっています。セクシャル、アカデミック、パワー、いずれのハラスメントも本来あってはならないものですが、その予防や早期対応にも努めています。

学生時代は、本当に貴重な密度の濃い数年間です。出会い、成長、発展、勇躍の時期でもあります。落胆、苦悩、挫折を味わうこともあるでしょう。健康の不安やキャンパス生活におけるさまざまな悩み事があれば、どうぞ遠慮なく受診や相談に来てください。また、大人になると悩みから解放されるわけではまったくありません。職員の方も遠慮なくご利用ください。

平成30年度は、スタッフの退職や休職などが重なり、例年に比べ活動を縮小せざるを得ませんでした。スタッフ不足はまだ完全には解消できていないのですが、できる限りの対応に努めます。みなさまからのご要望やご意見をお待ちしております。

令和元年12月
センター長 大森哲郎

I.保健管理部門

1. 診療・健康相談日程表

常三島地区、蔵本地区ともに8時30分から17時15分までオープンしている。
常三島地区

	月	火	水	木	金	
内科	○	○	○	○	○	
メンタルヘルス	○	○	○		○	予約制、水曜は午前のみ
健康相談	○	○	○	○	○	
外傷処置	○	○	○	○	○	

メンタルヘルスはH30.10～H31.2の間は月午後、水午前のみ

担当スタッフ

- 前田 健一 (医師、内科担当)
- 井崎 ゆみ子 (医師、メンタルヘルス担当)
- 大森 哲郎 (医師、メンタルヘルス担当、学校協力医 H30.10～H31.2)
- 井上 麻由 (医師、メンタルヘルス担当、非常勤)
- 早渕 純子 (保健師) 西尾よしみ (看護師)
- 武内 早苗 (臨床検査技師、H30.8～産休)
- 福富 美紀 (看護師、H30.7～H31.3)
- 田尾 さよ子 (看護師、H30.11～)

蔵本地区

	月	火	水	木	金	
内科	△	△	△	○	△	△はオンコール 木は午前のみ
メンタルヘルス			○		○	水・金とも午後のみ
健康相談	○	○	○	○	○	
外傷処置	○	○	○	○	○	

メンタルヘルスはH30.10～H31.2の間は金午後のみ

担当スタッフ

- 前田 健一 (内科担当、オンコール)
- 井崎 ゆみ子 (メンタルヘルス担当)
- 富岡 有紀子 (医師、メンタルヘルス担当、学校協力医 H29.10～H30.4)
- 川端 正志 (医師、メンタルヘルス担当、学校協力医 H30.5～H31.3)
- 横山 小百合 (看護師)

2. 学生定期健康診断

(1) 学生定期健康診断の概要

【実施項目】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	M1	M2	D1	D2	D3	D4
身長・体重	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
血圧	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
尿検査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
視力検査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
内科診察	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
血液検査	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
胸部X線間接撮影	●	◎	○	▲	●	●		●			▲	●
精神健康調査	●											
歯科検診	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

●印は全員該当 ○印は栄養学科・保健学科のみ

◎印は総合科学部「介護体験」実習生

▲印はその学年が最終学年となる学科、および医学科・薬学部

□印は希望者

【実施時期と体制】

新入生の健診は4月入学当初のオリエンテーションの中に組み込み3日間実施している。他の在在学生においては4月上旬から5月上旬にかけて常三島地区で8日間、蔵本地区で6日間実施した。また平成28年度から実施している秋季入学生を対象の健康診断は11月上旬に常三島地区で1日実施した。

春季定期健診については保健管理部門全スタッフと臨時看護スタッフ3名及び1日当たり学務・学部等の事務職スタッフ約5名、病院医師2～3名の協力にて実施している。

【実施結果の概要】

平成30年度の定期健康診断の全体の受診率は69.6%で、平成29年度の69.6%と同率であった。内訳では、学部生全体の受診率は75.5%で29年度の74.7%から微増であったが、大学院生の受診率が前年度より低下していた。定期健康診断の受診率は、平成24年度までは50%台であったことから見ると、受診率は学部生を中心として上昇している。

秋入学生健康診断の受診率は留学生で70.6%、日本人で0%と、留学生で前年度74.7%より低下している。日本人の受診率が低いのは、日本人対象者は社会人入学生が多く、すでに別途健診を受診していることが関係している。同様のことが春の定期健康診断の大学院生後期課程にも言え、健診受診率は16.7%となっている。

(2) 学生定期健康診断受診状況

定期健康診断（春季）

平成 30 年度

学部	年次	学部生							大学院生(前期)			大学院生(後期)					総計	
		1	2	3	4	5	6	計	M1	M2	計	D1	D2	D3	D4	計		
総合科学	学生数	187	187	197	301			872	43	51	94	2	4	6		12	978	
	受診数	180	102	100	206			588	30	24	54	1	0	0		1	643	
	%	96.3	54.5	50.8	68.4			67.4	69.8	47.1	57.4	50.0	0.0	0.0		8.3	65.7	
医学	学生数	305	314	319	292	100	124	1454	56	68	124	47	67	72	122	308	1886	
	受診数	289	266	266	278	95	118	1312	34	44	78	2	8	4	4	18	1408	
	%	94.8	84.7	83.4	95.2	95.0	95.2	90.2	60.7	64.7	62.9	4.3	11.9	5.6	3.3	5.8	74.7	
歯学	学生数	60	57	57	49	45	43	311	4	11	15	22	16	16	21	75	401	
	受診数	50	50	50	41	40	37	268	2	3	5	13	8	9	10	40	313	
	%	83.3	87.7	87.7	83.7	88.9	86.0	86.2	50.0	27.3	33.3	59.1	50.0	56.3	47.6	53.3	78.1	
薬学	学生数	88	85	92	84	44	41	434	37	34	71	15	12	19	2	48	553	
	受診数	84	72	87	75	43	36	397	26	13	39	8	8	4	1	21	457	
	%	95.5	84.7	94.6	89.3	97.7	87.8	91.5	70.3	38.2	54.9	53.3	66.7	21.1	50.0	43.8	82.6	
工学	昼間	学生数	3	31	100	615			749	359	362	721	38	35	70		143	1613
		受診数	0	2	16	463			481	196	296	492	4	3	11		18	991
		%	0.0	6.5	16.0	75.3			64.2	54.6	81.8	68.2	10.5	8.6	15.7		12.6	61.4
	夜間主	学生数	0	5	19	55			79									79
		受診数	0	1	4	37			42									42
		%	0.0	20.0	21.1	67.3			53.2									53.2
理工	昼間	学生数	583	592	507			1682										1682
		受診数	547	351	242			1140										1140
		%	93.8	59.3	47.7			67.8										67.8
	夜間主	学生数	51	54	42			147										147
		受診数	45	30	23			98										98
		%	88.2	55.6	54.8			66.7										66.7
生物資源産業	学生数	103	103	99			305										305	
	受診数	101	75	50			226										226	
	%	98.1	72.8	50.5			74.1										74.1	
計	学生数	1380	1428	1432	1396	189	208	6033	499	526	1025	124	134	183	145	586	7644	
	受診数	1296	949	838	1100	178	191	4552	288	380	668	28	27	28	15	98	5318	
	%	93.9	66.5	58.5	78.8	94.2	91.8	75.5	57.7	72.2	65.2	22.6	20.1	15.3	10.3	16.7	69.6	

(内科受診をもとに算出)

(1年は胸部撮影をもとに算出)

秋季入学生健康診断

平成 30 年度

		留学生	日本人	合計
総合科学部 総合科学教育部	学生数	24		24
	受診数	23		23
	%	95.8		95.8
医学部 医科学教育部	学生数	3	10	13
	受診数	2	0	2
	%	66.7	0.0	15.4
歯学部 口腔科学教育部	学生数	2	5	7
	受診数	2	0	2
	%	100.0	0.0	28.6
薬学部 薬科学教育部	学生数	4		4
	受診数	3		3
	%	75.0		75.0
工学部 先端技術科学教育部	学生数	17	8	25
	受診数	6	0	6
	%	35.3	0.0	24.0
理工学部	学生数	9		9
	受診数	7		7
	%	77.8		77.8
生物資源産業学部	学生数	1		1
	受診数	0		0
	%	0.0		0.0
国際センター	学生数	8		8
	受診数	5		5
	%	62.5		62.5
合計	学生数	68	23	91
	受診数	48	0	48
	%	70.6	0.0	52.7

(3) 歯科検診受診状況

予防歯科の伊藤先生のご協力を得て、健診日のうち常三島、蔵本各 2 日ずつ、希望者に歯科検診を行った。歯科検診受診者は、平成 25 年度までの 3 年間は平均 100 名程度であったが、平成 30 年度は 205 名とこの 3 年間 200 名を超えている。

平成 30 年度

		総合科学部		医学部		歯学部		薬学部		工学部		理工学部		生物資源産業学部		総計
		学部生	院生	学部生	院生	学部生	院生	学部生	院生	学部生	院生	学部生	院生	学部生	院生	
常三島地区	4月16日	11	0	2	0	0	0	0	0	6	18	16		11	0	64
	4月17日	19	1	0	0	1	0	0	0	6	10	11		0	0	48
蔵本地区	4月23日	1	0	59	6	3	0	4	1	0	0	0		0	0	74
	5月7日	0	0	9	1	5	0	3	0	1	0	0		0	0	19
小計		31	1	70	7	9	0	7	1	13	28	27		11	0	205
総計		32		77		9		8		41		27		11		

(4) 定期健康診断後事後指導および経過観察件数

健診結果を受け、6月に事後指導、10月に経過観察を行っている。

健診後、血圧で収縮期血圧 140mmHg 以上、又は拡張期血圧 90mmHg 以上、尿検査で蛋白 1+以上、潜血 1+以上、糖 1+以上のいずれかに該当する場合で、再検査を呼びかけている。事後指導対象者の事後指導受診率は平成 29 年度の 57%と変わらず、56%であった。事後指導の未受診者には、平成 27 年度から文書を送付し指導を行っている。

* 学生事後指導及び経過観察の対象基準

	血圧		尿			血液検査							肥満度	内科	XP
	収縮期	拡張期	蛋白	潜血	尿糖	血糖	GOT	GPT	γ-GTP	HDL	LDL	TG	BMI		
事後指導	160 ≤	90 ≤	2+ ≤	2+ ≤	1+ ≤								30 ≤	有所見者	要精密 ≤
経過観察	160 ≤	90 ≤	1+ ≤	2+ ≤	1+ ≤	200 ≤	50 ≤	70 ≤	120 ≤	40 >	150 ≤	200 ≤			

平成 30 年度

再検査

学部	血圧再検査					尿再検査				
	受診数	有所見数	%	再検査数	%	受診数	有所見数	%	再検査数	%
総合科学	658	24	3.6	25	3.8	658	98	14.9	87	13.2
医学	1416	28	2.0	14	1.0	1415	222	15.7	190	13.4
歯学	313	6	1.9	4	1.3	312	59	18.9	48	15.4
薬学	474	7	1.5	5	1.1	473	87	18.4	69	14.6
工学	1036	74	7.1	56	5.4	1038	110	10.6	103	9.9
理工学	1251	94	7.5	60	4.8	1260	190	15.1	162	12.9
生物資源産業	224	13	5.8	9	4.0	226	33	14.6	32	14.2
計	5372	246	4.6	173	3.2	5382	799	14.8	691	12.8

事後指導

学部	対象者数	呼出数	%	受診数	%	血圧		尿		生化学		内科		胸部レントゲン		肥満	
						対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数
総合科学	643	47	7.3	34	72.3	6	5	9	8	34	23	6	4	1	1	9	6
医学	1408	97	6.9	58	59.8	11	3	25	16	55	26	23	17	11	11	16	9
歯学	313	32	10.2	20	62.5	1	1	9	6	12	15	7	4	2	2	12	10
薬学	457	44	9.6	18	40.9	3	0	10	2	26	10	12	6	4	4	6	1
工学	1033	74	7.2	36	48.6	14	6	10	5	50	19	14	10	7	7	32	9
理工学	1238	125	10.1	67	53.6	21	10	14	6	88	42	31	20	4	4	32	18
生物資源産業	226	23	10.2	16	69.6	3	2	5	4	16	9	4	3	0	0	5	1
計	5318	442	8.3	249	56.3	59	27	82	47	281	144	97	64	29	29	112	54

経過観察

学部	血圧		尿		生化学	
	対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数
総合科学	3	0	29	7	1	0
医学	9	0	49	12	9	3
歯学	1	1	15	2	4	2
薬学	3	0	25	7	4	0
工学	10	0	21	5	0	0
理工学	21	5	50	13	0	0
生物資源産業	2	0	11	4	1	1
計	49	6	200	50	19	6

3. 学生特別健康診断

放射線取扱者の健診を9月と2月の年2回、および学内駅伝大会のための健診を12月に行っている。放射線取扱者の健診受診者数においては、平成30年度は平成29年度の約1600名と変わらず26~28年度の約2000名と比べると少なかった。また、駅伝大会のための健診者も、前年度と変わらず、平成26~28年度の平均約280名に比べると少なかった。

学部	平成30年度		計
	放射線取扱 扱い者	徳島大学 駅伝大会 出場者	
総合科学	25	28	53
医学	1013	7	1020
歯学	26	0	26
薬学	184	3	187
工学	410	34	444
理工学	8	119	127
生物資源産業学	0	18	18
計	1666	209	1875

学内駅伝大会出場者で、心電図検査を受けたことがない学生を対象に心電図検査を実施している。

心電図検査実施件数

学部	平30年度
総合科学	26
医学	7
歯学	0
薬学	3
工学	33
理工学	103
生物資源産業学	18
計	190

4. 職員定期健康診断（事後措置）

職員定期健康診断は、平成26年度から外注で6月に実施されているが、定期健康診断実施後の事後措置は当保健管理部門にて従来どおり行っている。

がん検診については、大腸がん、肺がんにおいては、健診受診者の精密検査の要否判定を行っている。（なお、表においては「大腸がん・受診者」は健診受診者数を表し、「肺がん・精密受診者」は精密検査要と判定した者のうち精密検査受診者数を表している。）大腸がん健診の受診者数は28年度まで3年漸増傾向であったが、29年度、30年度はそれぞれ横ばいである。

*職員定期健康診断事後指導呼び出し基準

血圧		尿		血液検査									
収縮期	拡張期	蛋白	尿糖	HGB(男)	HGB(女)	血糖	GOT	GPT	γ-GTP	HDL	LDL	TG	HbA1c
160 ≤	95 ≤	1+ ≤	2+ ≤	< 11	< 10	200 ≤	100 ≤	100 ≤	200 <	< 40	170 ≤	200 ≤	7 ≤

平成30年度

所 属	検査名			血圧			尿			生化学			貧血			大腸がん 受診数	肺がん 受診数
	対象数	受診数	%	対象数	受診数	%	対象数	受診数	%	対象数	受診数	%	対象数	受診数	%		
事務局	10	5	50.0	8	3	37.5	40	31	77.5	1	1	100.0	23	11			
病院	25	10	40.0	31	19	61.3	138	96	69.6	27	21	77.8	36	7			
常三島事務部	2	2	100.0	2	1	50.0	5	3	60.0	1	1	100.0	3	0			
蔵本事務部	3	2	66.7	3	2	66.7	5	4	80.0	2	2	100.0	5	0			
大学院医歯薬学研究部	21	15	71.4	14	10	71.4	78	56	71.8	7	6	85.7	39	8			
大学院社会産業理工学研究部	13	4	30.8	10	5	50.0	63	46	73.0	1	1	100.0	20	4			
学内共同教育研究	9	5	55.6	9	4	44.4	34	26	76.5	1	1	100.0	37	6			
研究連携推進機構	0	0	0.0	0	0	0.0	2	2	100.0	0	0	0.0	8	0			
計	83	43	51.8	77	44	57.1	365	264	72.3	40	33	82.5	171	36			

5. 職員特殊健康診断

深夜業務、放射線取り扱い業務、有機溶剤取り扱い業務、特定化学物質取り扱い業務およびVDT作業の各従事者に対して、年2回の特殊健康診断を実施している。平成23～25年度の受診数が平均約2800件であったことと比較すると、26年度以降漸増し、平成29年度は、3300件、30年度は3500件超となっている。

平成30年度

所 属	健康診断受診数						計
	深夜業務	放射線取り扱い		有機溶剤	特定化学物質	VDT	
		新規	更新				
事務局	0	0	0	0	0	0	
病院	1502	145	991	35	14	58	2745
常三島事務部	0	0	0	0	0	1	1
蔵本事務部	0	0	0	0	0	0	0
大学院医歯薬学研究部	12	26	344	39	40	34	495
大学院社会産業理工学研究部	0	4	133	14	17	7	175
学内共同教育研究	0	4	81	31	44	11	171
研究連携推進機構	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
計	1514	179	1549	119	115	111	3587

平成 29 年度には、積極支援の対象者が 85 名、動機付け支援の対象者が 115 名であったが、平成 30 年度はそれぞれ 92 名、110 名であり、ほぼ横ばいであった。積極支援の対象者の初回面接の実施率は 29 年度の 41.2%から、30 年度は 13%と減少している。これは、対象者への通知において義務のニュアンスを緩め、指導を受けることを呼びかける内容に変更したことが要因としてあげられよう。一方、積極支援における保健指導実施後の改善率は 29 年度の 41%に比し 64%と上昇している。

平成 30 年度

<積極支援>

地区	対象者		初回面接実施者		初回面接後内服開始により対象外となった者		初回面接実施後、3か月継続支援完了者		6ヶ月後評価が出来た者で効果が見られた者			初回面接実施者中効果の見られた者	
	人数	率	人数	率	人数	率	評価人数	効果あり	率	人数	率		
常三島・新蔵地区	35		7	20.0	0		3	42.9	7	6	85.7	6	85.7
蔵本地区	57		5	8.8	1		0	0.0	3	1	33.3	1	25.0
合計	92		12	13.0	1		3	27.3	10	7	70.0	7	63.6

<動機付け支援>

地区	対象者		初回面接実施者		初回面接から6か月後質問紙提出があった者		6ヶ月後評価が出来た者で効果が見られた者			初回面接実施者中効果の見られた者	
	人数	率	人数	率	人数	率	評価人数	効果あり	率	人数	率
常三島・新蔵地区	29		5	17.2	4	80.0	4	2	50.0	2	40.0
蔵本地区	81		5	6.2	3	60.0	3	3	100.0	3	60.0
合計	110		10	9.1	7	70.0	7	5	71.4	5	50.0

*メールや電話、手紙、面接等で支援を行った総数(初回面接除く)22件

7. 感染症対策

学生の感染症対策として、病院内の実習における感染症対策に求められる基準に合わせて、学部学科より実施希望を受け、HB 感染症対策として、採血およびワクチン接種を行っている。平成 30 年度の実施数は前年度に比べて、ワクチン接種は 100 件増加、採血は 70 件増加している。

学部	平成30年度	
	HBsワクチン接種	HBs抗原抗体採血・抗体採血
総合科学	42	28
医学	899	585
歯学	159	105
薬学	293	196
工学	0	0
理工学	0	0
生物資源産業学	0	0
計	1393	914

また、学生・職員の希望者に対して、インフルエンザの予防接種を実施している。学生の希望者は年度により 100 件程の増減があるが、職員の希望者は漸増を続けている。

インフルエンザワクチン接種状況

所属		平成30年度
学生	総合科学	24
	医学	645
	歯学	138
	薬学	159
	工学	64
	理工学	50
	生物資源産業	53
	小計	1133
職員	事務局	170
	病院	0
	常三島事務部	61
	蔵本事務部	24
	大学院医歯薬学研究部	30
	大学院社会産業理工学研究部	136
	学内共同教育研究	29
	研究連携推進機構	0
	その他	109
	小計	559
合計		1692

8. 学内行事での救護活動

大学や学部等からの依頼により、行事などでの救護に対応している。科学体験フェスティバル、大学祭、駅伝大会、センター試験、その他の入試など休日に実施される行事の救護についても保健管理部門の医師2名、看護師2名が分担して対応している。

<学内>

行事内容		常三島		蔵本	
		日数	救護者	日数	救護者
入試関係	大学入試センター試験	2	0	/	/
	前期試験	2	0	2	0
	後期試験	1	0	1	0
	推薦入試等	4	0	3	0
イベント	科学体験フェスティバル	2	4	/	/
	大学祭等	2	0	/	/
	オープンキャンパス	2	0	4	0
合計		15	4	4	0

<学外>

行事内容		日数	救護者	場所
大会	徳島大学駅伝大会	1	0	徳島公園
合計		1	0	

9. 産業保健活動

徳島大学の安全衛生管理体制の中で、産業医（常三島地区：前田、蔵本地区：井崎）業務と衛生管理者（常三島地区：早淵）業務を行っている。

職場巡視（産業医：常三島・蔵本）

安全衛生委員会（産業医、衛生管理者：常三島・蔵本）

衛生管理者巡視（衛生管理者：常三島）

長期休業者職場復帰支援（産業医：常三島・蔵本）

ストレスチェック実施、面接指導（産業医：常三島・蔵本）平成28年度～

長時間労働者面接指導（産業医：常三島・蔵本）

〈面接指導件数〉

	常三島	蔵本	新蔵	計
長時間労働者	0	1	0	1
ストレスチェック	2	3	0	5

10. 常三島地区利用状況

(1) 学生利用状況—学部別

診療に関しては平成29年度の1400件から減少し近年漸減傾向であるが、健康機器の利用が5500件→6000件に増加しており、全体の学生利用件数に前年度と比べて変化はなかった。

平成30年度

利用区分	診療					書類					健康相談		休養室利用	急患救護	実験用採血	機器利用	衛生材料	その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計	来所	メール、電話							
総合科学	113	49	60	3	225	121	0	7	16	144	191	23	61	18	18	6041	147	0	8491
医学	28	14	14	2	58	170	0	12	29	211									
歯学	8	3	8	0	19	36	0	3	2	41									
薬学	8	6	25	0	39	75	0	4	1	80									
工学	181	53	111	2	347	342	0	13	8	363									
理工学	173	75	30	0	278	45	0	6	8	59									
生物資源産業学	82	16	4	1	103	4	0	1	0	5									
その他	17	2	1	0	20	0	0	0	0	0									
計	610	218	253	8	1089	793	0	46	64	903	191	23	61	18	18	6041	147	0	8491

(2) 学生利用状況—月別

診療利用数は例年8月9月および2月3月に減少し、全体の利用数は5月6月7月が多くなっている。

平成30年度

利用区分	診療					書類					健康相談		休養室利用	急患救護	実験用採血	機器利用	衛生材料	その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書	書類計	来所	メール、電話							
4月	51	25	19	0	95	114	0	31	1	146	39	2	4	0	2	273	25	0	586
5月	77	28	24	1	130	180	0	3	0	183	21	1	14	5	0	549	23	0	926
6月	91	32	29	1	153	66	0	1	0	67	25	7	11	2	2	1074	3	0	1344
7月	44	18	47	0	109	78	0	1	23	102	18	7	12	3	2	1183	8	0	1444
8月	21	8	27	0	56	41	0	1	7	49	8	0	3	0	0	312	7	0	435
9月	22	10	26	1	59	32	0	5	0	37	6	0	0	0	0	409	6	0	517
10月	66	21	16	2	105	18	0	1	1	20	16	3	6	3	5	586	13	0	757
11月	77	35	8	2	122	14	0	0	1	15	21	1	3	1	1	581	20	0	765
12月	42	24	16	0	82	10	0	1	1	12	4	0	2	2	4	340	26	0	472
1月	72	10	18	1	101	21	0	2	4	27	16	1	3	2	1	387	13	0	551
2月	38	5	14	0	57	39	0	0	14	53	9	0	3	0	0	185	0	0	307
3月	9	2	9	0	20	180	0	0	12	192	8	1	0	0	1	162	3	0	387
計	610	218	253	8	1089	793	0	46	64	903	191	23	61	18	18	6041	147	0	8491

(3) 職員利用状況

診療の利用が前年度並みであった。30年度は実験用の採血など診療以外の利用が微減した。

利用区分	診療					相談		書類					休養室 利用	急患 救護	実験用 採血	総計
	内科 系	外科 系	メン タル	婦人 科系	診療 計	職場復 帰支援	関係者 コンサル テーション	健康診 断証明 書	健診 結果 表	紹介 状	診断 書・意 見書	書類 計				
平成30年度	69	14	21	0	104	7	0	0	0	1	6	7	10	3	0	131

1 1. 蔵本地区利用状況

診療の利用は、30年度は前年より全体に減少がみられる。学部別では薬学部の診療利用率が最も高いことは同様である。

(1) 学生利用状況—学部別

平成30年度

利用区分	診療					書類					健康相談		休養室 利用	急患 救護	実験用 採血	機器 利用	衛生 材料	その他	総計
	内科 系	外科 系	メン タル	婦人 科系	診療 計	健康診 断証明 書	健診結 果表	紹介 状	診断 書・意 見書	書類計	来所	メール、 電話							
総合科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	154	72	0	0	0	125	14	273	1138
医学	111	62	34	14	221		1	1	3	5			31	5	0				
歯学	37	21	0	2	60		0	0	0	0			8	1	0				
薬学	47	44	13	7	111		3	2	0	5			17	0	0				
工学	0	0	1	0	1		0	0	0	0			0	0	0				
理工	1	0	0	0	1		0	0	0	0			0	0	0				
生物資源	0	0	0	0	0		0	0	0	0			0	0	0				
その他	0	0	0	0	0		0	0	0	0			0	0	0				
計	196	127	48	23	394		4	3	3	10			56	6	0				

(2) 学生利用状況—月別

月別に見ると、4～6月の利用が多い傾向があった。

平成30年度

利用区分	診療					書類					健康相談		休養室 利用	急患 救護	実験用 採血	機器 利用	衛生 材料	その他	総計
	内科 系	外科 系	メン タル	婦人 科系	診療 計	健康診 断証明 書	健診結 果表	紹介 状	診断 書・意 見書	書類計	来所	メール、 電話							
4月	32	21	1	3	57	0	0	0	0	0	17	4	6	2	0	18	4	28	136
5月	37	9	5	7	58	0	0	1	0	1	24	6	14	2	0	11	5	111	235
6月	31	24	6	1	62	0	3	0	0	3	16	8	11	0	0	20	1	26	147
7月	10	10	9	0	29	0	0	0	0	0	10	8	8	1	0	7	0	27	93
8月	10	5	2	2	19	0	0	0	0	0	8	5	5	1	0	5	1	7	51
9月	15	10	2	1	28	0	0	0	0	0	11	8	4	0	0	3	0	5	59
10月	11	14	3	4	32	0	0	0	0	0	16	6	3	0	0	6	1	17	81
11月	21	7	3	0	31	0	0	0	1	1	9	4	2	0	0	7	0	14	88
12月	13	5	5	1	24	0	0	1	1	2	5	4	3	0	0	27	0	6	72
1月	9	8	4	2	23	0	0	0	0	0	11	10	0	0	0	7	0	5	63
2月	5	8	3	1	17	0	1	0	1	2	12	7	0	0	0	11	1	13	63
3月	2	6	5	1	14	0	0	1	0	1	15	2	0	0	0	3	1	14	50
計	196	127	48	23	394	0	4	3	3	10	154	72	56	6	0	125	14	273	1138

(3) 職員利用状況

職員の診療利用件数は前年度と同様であった。機器利用（血圧計など）の増減により、総利用件数の変化が見られる。

利用区分	診療				相談		書類					健康相談		休養室利用	急患救護	機器利用	衛生材料	その他	総計	
	内科系	外科系	心臓科	婦人科	診療計	職場復帰支援	関係者コンサルテーション	健康診断証明書	健康診断結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計	来所							メール、電話
平成30年度	37	20	21	3	81	5	0	0	3	2	2	7	34	23	4	2	18	3	33	210

12. 学生メンタルヘルス関連

(1) こころの相談室受診状況

常三島保健管理部門および蔵本保健室の「こころの相談室」を受診した学生数を示している。30年度については、例年より受診者数および受診件数は減少している。常勤担当医の不在により学生の受診の利便性の低下による影響の可能性がある。診断の内訳は前年度同様である。

		常三島	蔵本	総計
精神 医学 的 診 断	F0 症状性・器質性精神障害	0	0	0
	F1 精神作用物質による精神障害	0	0	0
	F2 統合失調症圏	1	0	1
	F3 気分障害	12	6	18
	F4 神経症性障害	19	5	24
	F5 生理的障害	3	1	4
	F6 パーソナリティ障害	1	0	1
	F8 広汎性発達障害圏	5	0	5
	F9 小児・青年期の行動情緒障害	3	1	4
	その他	4	2	6
計(人数)		48	15	63
計(面接件数)		253	48	301

関係者のみの相談利用

学生本人の利用には至っていないが、関係者（保護者や教員）のみが学生について相談利用した数を示している。

	常三島	蔵本	総計
関係者のみの相談(保護者・教員)(人数)	4	1	5
面接件数	4	1	5

学部別受診状況

在学者数から見ると、薬学部、総合科学部の受診率が高くなっている。

	常三島	蔵本	総計
総合科学部	12	0	12
医学部	6	10	16
歯学部	2	0	2
薬学部	3	4	7
工学部	18	1	19
理工学部	5	0	5
生物資源産業学部	1	0	1
その他	1	0	1
計(人数)	48	15	63

(2) 新入生メンタルヘルス健診実施状況

平成20年度から、新入生の健診時に、自記式の質問紙によるメンタルヘルス健診を実施している。質問紙の回答の結果がカットオフを超えていた者を二次健診対象者として、面接を呼びかけて精神保健指導を行っている。

質問紙は平成26年度まではGHQ28を、27年度からUPIを使用している。UPIでは60点満点中「総得点が30点を越える者」、「得点にかかわらず自殺念慮が見られる者」とした。また、カットオフ基準には至らない高得点者には希望者に面接を行った。

二次健診対象者は例年受診者の6～8%で、30年度は9%であった。面接の結果の要留意学生数は、面接数の約50%であった。面接時の状態に従って、精神保健指導、継続相談治療への導入、医療機関への紹介などを行った。

	学生数	受診者数	受診率 (回収率)	平均得点	二次健診対象者		二次健診結果	
					対象者数	対象者率	面接数	要留意学生数
平成30年度	1345	1283	95%	12.8	112	8.70%	49	25
前年度	1331	1291	97%	12.4	86	6.5%	26	13

1 3. 健康教室等実施利用状況

平成 30 年度は常三島地区において上半期に、睡眠に関する健康支援として、学生・職員の希望者を対象に、アクチグラフィ検査を実施した。

アクチグラフィ検査利用者数

	6月	計
学生	1	1
職員	1	1

14. 学生健康診断証明書発行状況

学生の健康診断証明書は、学務部に設置してある自動発行機にて発行できるようになっている。ただし、発行に当たって医師の確認を要する場合など、自動発行機で発行できない場合は、常三島保健管理部門で発行している。

平成30年度

① 保健管理部門発行分

	総科	医学	歯学	薬学	工学	理工	生物資源	合計(枚)
4月	24	21	11	15	40	3	0	114
5月	39	10	1	27	94	8	1	180
6月	14	4	6	2	36	4	0	66
7月	15	37	1	2	15	8	0	78
8月	5	16	5	1	7	5	2	41
9月	1	0	2	0	20	9	0	32
10月	3	6	1	0	5	2	1	18
11月	4	4	3	0	0	3	0	14
12月	4	0	3	0	3	0	0	10
1月	2	5	2	8	4	0	0	21
2月	2	14		18	5	0	0	39
3月	8	53	1	2	113	3	0	180
合計	121	170	36	75	342	45	4	793

② 自動発行機発行分

	総科	医学	歯学	薬学	工学	理工	生物資源	合計(枚)
4月	35	1	0	15	208	1	2	262
5月	144	70	8	68	425	5	0	720
6月	33	53	4	12	102	6	0	210
7月	29	77	19	4	56	7	0	192
8月	11	21	8	1	29	4	1	75
9月	9	18	7	3	39	2	0	78
10月	10	10	0	2	31	0	0	53
11月	6	9	0	0	10	0	0	25
12月	4	5	8	2	1	0	0	20
1月	3	9	16	6	10	0	0	44
2月	3	30	9	37	56	1	0	136
3月	17	108	7	41	82	32	9	296
合計	304	411	86	191	1,049	58	12	2,111

① + ②

	総科	医学	歯学	薬学	工学	理工	生物資源	合計(枚)
4月	59	22	11	30	248	4	2	376
5月	183	80	9	95	519	13	1	900
6月	47	57	10	14	138	10	0	276
7月	44	114	20	6	71	15	0	270
8月	16	37	13	2	36	9	3	116
9月	10	18	9	3	59	11	0	110
10月	13	16	1	2	36	2	1	71
11月	10	13	3	0	10	3	0	39
12月	8	5	11	2	4	0	0	30
1月	5	14	18	14	14	0	0	65
2月	5	44	9	55	61	1	0	175
3月	25	161	8	43	195	35	9	476
合計	425	581	122	266	1,391	103	16	2,904

15. 年間主要行事

平成 30 年度

月	学 生 業 務	職 員 業 務
4	新入生定期健康診断	特殊健診:放射線取り扱い者健康診断(病院診療用)
	在校生定期健康診断	
	再検査(血圧・尿)	
	健康診断証明書発行	
5	在校生定期健康診断	特殊健診:放射線取り扱い者健康診断(病院診療用)
	HBs抗原抗体検査(麻疹・風疹・水痘・ムンプスを含む) (医1・栄1・歯1・口1・看1・3編入・検1・放1・薬1・4・助・総M1)	
	定期健康診断有所見者事後指導(6月下旬まで)	
	学生精神健康調査有素見者面接(7月下旬まで)	
放射線取り扱い者健康診断(新規)		
6	1回目HBsワクチン接種 (医1・栄1・歯1・口1・看1・3編入・検1・放1・薬1・4・助・総M1)	VDT作業従事者健康診断(第1回)
	第1回メンタルヘルスマーケティング	
7	2回目HBsワクチン接種 (医1・栄1・歯1・口1・看1・3編入・検1・放1・薬1・4・助・総M1)	有害業務従事者健康診断(第1回)
	オープンキャンパス救護	
8	科学体験フェスティバルin徳島救護	
	第48回 中国・四国大学保健管理研究集会(鳥取大学)	
	特定保健指導	
9	特殊健診:放射線取り扱い者健康診断(更新)	
	第2回メンタルヘルスマーケティング	
	前期業務整理	
10	定期健康診断有所見者経過観察	特定保健指導
	インフルエンザ予防接種実施(希望者)11月上旬まで	
	第56回 全国大学保健管理研究集会(東京大学)	
	公益社団法人全国大学保健管理協会施設長会議	
11	秋季入学健康診断	定期健康診断有所見者経過観察
	3回目HBsワクチン接種 (医1・栄1・歯1・口1・看1・3編入・検1・放1・薬1・4・助・総M1)	特殊健診:深夜業務従事者健康診断(第2回)
	インフルエンザ予防接種受付(希望者)	特殊健診:VDT作業従事者健康診断(第2回)
	特殊健診:放射線取り扱い者健康診断(新規)	
	推薦入試救護	
12	大学祭救護	
	徳島大学駅伝大会出場者健康診断	有害業務従事者健康診断(第2回)
	駅伝健診の再検査及び医療機関紹介	
1	第3回メンタルヘルスマーケティング	
	第46回徳島大学駅伝大会救護	胃がん検診(40才以上)
		子宮がん検診(女子職員希望者)
		大腸がん検診(希望者)
		喀痰細胞診検査(希望者)
		がん検診判定(大腸がん・喀痰細胞診)
2	大学入試センター試験救護	
	HBs抗体検査 (医1・栄1・歯1・口1・看1・3編入・検1・放1・薬1・4・助・総M1)	
	前期入学試験救護	
	推薦入試救護	
	放射線取り扱い者健康診断(更新)	
3	公益社団法人全国大学保健管理協会中国四国保健看護運営委員会	
	後期入学試験救護	
	定期健康診断打ち合わせ会	
	公益社団法人全国大学保健管理協会中国四国地方部会幹事会(書面審議)	
	全国大学保健管理協会中国四国地方部会意見交換会	
	第4回メンタルヘルスマーケティング	
第1回保健管理・総合相談センター運営委員会		
本年度業務整理		

Ⅱ．総合相談部門

1．利用状況

(1) 学生相談利用状況

学部別で見ると、「工学部」の来談者が最も多かった。工学部は、他学部と比べると、専門分野への適性が修学適応に与える影響が大きいことから、このような結果になったと考えられる。

相談内容別で見ると、「人間関係の問題」「精神面の問題」、及び「進路・就職の問題」の解決を求めて来談した学生が最も多く、ほぼ同数であった。身近な他者との関係性や心理状態、また進路の問題など、周囲には気軽に相談できない問題の解決のための利用ニーズが高かったと考えられる。

学部	修学・履修	留年・不登校	進路・就職	経済的	人間関係	精神面	健康面	人権	悪質商法	その他	合計
総合科学部	4	3	7		11	7		2		1	35
医学部	4	1	3		8	3	1	2		1	23
歯学部			1		2	3		1			7
薬学部	6	5	2		5	2		2			22
工学部	5	10	10		3	11		4	3		46
理工学部	2	2	5		3	4		2		2	20
生物資源産業学部	3	1			1	2					7
不明学部			1					1		1	3
合計	24	22	29	0	33	32	1	14	3	5	163

(2) 相談内容別職員相談利用状況

所属別で見ると、「医学部」の来談者が最も多かった。

相談内容別で見ると、「人権問題」の解決を求めて来談する教職員が最も多かった。次に多かったのが「人間関係の問題」であったことも合わせると、職場の対人的環境で悩む教職員の利用ニーズが高かったと考えられる。

学部	人間関係	労働環境	雇用条件	職業将来設計	人権	精神面	自分の生活等	家族	その他	合計
医学部	5				6					11
歯学部	2				1					3
薬学部					1					1
工学部					1					1
理工学部	1				1			1	1	4
生物資源産業学部	1									1
病院				1	4	1				6
事務局						1				1
その他	2	5			2	3			2	14
合計	11	5		1	16	5		1	3	42

2. 活動報告

平成 30 年度

月	対象者	行事	内容
4	学生・教職員・保護者	「保健管理・総合相談センター利用案内」発行	保健管理・総合相談センターの利用案内及び活動内容を周知、保護者宛て徳大広報「とくtalk」2018春号に同封
		新入生(理工学部)オリエンテーション	理工学部を3ブロックにわけて新入生を対象のオリエンテーション(学生時代の悩み・総合相談部門の紹介)を実施(井ノ崎専任教員)
		新入生(総合科学部)オリエンテーション	新入生を対象のオリエンテーション(学生時代の悩み・総合相談部門の紹介)を実施(井ノ崎専任教員)
		新入生(生物資源産業学部)オリエンテーション	新入生を対象のオリエンテーション(学生時代の悩み・総合相談部門の紹介)を実施(井ノ崎専任教員)
		新入生(医学部)オリエンテーション	新入生を対象のオリエンテーション(学生時代の悩み・総合相談部門の紹介)を実施(中村専任教員)
		新入生(歯学部・薬学部)オリエンテーション	新入生対象の入門講座(学生時代の悩みと総合相談部門の紹介)を実施(中村専任教員)
	新入生・学生	マルチ商法及びバカ問題の注意喚起のリーフレットを作成・配布	新入生に配布する悪質商法及びバカ問題の注意喚起のリーフレットを作成し、配布
	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](井ノ崎専任教員)
	学生・教職員・保護者	徳大広報「とくTalk」2018春号掲載	センター紹介(井ノ崎専任教員)
教職員	病院新規採用者オリエンテーション	「人権問題」について講演を実施(中村専任教員)	
5	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](井ノ崎専任教員)
	専任教員	日本心理臨床学会国際交流委員会企画ワークショップ	井ノ崎専任教員出席
6	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](井ノ崎専任教員)
	教職員	メンタルヘルスマーケティング	保健管理部門と総合相談部門との情報交換及び事例についてカウンセラー等が意見交換
	専任教員	第17回日本トラウマティック・ストレス学会	中村専任教員出席
7	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](井ノ崎専任教員)
8	学生	エンカウンター・グループ	参加学生の自己発見と自己成長を目指すグループワークを2日間にかけて実施(井ノ崎専任教員)
	専任教員	日本描画テスト・描画療法学会第28回大会	井ノ崎専任教員出席
9	教職員	メンタルヘルスマーケティング	保健管理部門と総合相談部門との情報交換及び事例についてカウンセラー等が意見交換
	教職員・学生	学生支援担当教職員研究会	中村専任教員出席
	専任教員	日本心理学会第82回大会	井ノ崎専任教員出席

10	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](井ノ崎専任教員)
		大学祭に参加	大学祭において心理テストを実施[常三島・蔵本地区]
	学生・教職員・保護者	徳大広報「とくTalk」2018秋号掲載	ヘルスケア(中村専任教員)
11	学生	ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](井ノ崎専任教員)
	専任教員	日本精神分析学会第64回大会	井ノ崎専任教員出席
12	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](井ノ崎専任教員)
	専任教員	「MRIRIMプロジェクト」ミーティング	中村専任教員出席
1	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](井ノ崎専任教員)
専任教員	日本学生相談機関代表者協議会	井ノ崎専任教員出席	
2	専任教員	第202回・203回セカンドステップ研修会	中村専任教員出席
		平成30年度 メンタルヘルス・ファーストエイド	中村専任教員出席
		ジャパン実施者研修会	
3	教職員	学生支援連絡会	キャリア支援室, 特別修学支援室, 保健管理部門との連携及び意見交換
		メンタルヘルスマーケティング	保健管理部門と総合相談部門との情報交換及び事例についてカウンセラー等が意見交換
	専任教員	包括手引きを用いた認知処理療法研修	中村専任教員出席

※総合相談部門開室日
月～金 8:30～17:15

※総合相談部門閉室日
夏季一斉休業(30.8.13～30.8.15の間)
冬季一斉休業(30.12.29～31.1.3の間)